



「児童・職員・地域みんなの笑顔がいっぱい梅南小」を目指して

毎朝、登校時に子どもたちを迎えています。子どもたちの元気な声にパワーをもらっています。梅南小の子どもたちは、明るく素直な子が多く、とてもうれしいです。しかし、少し恥ずかしがり屋さんなのか、声をかけても下を向いたまま小さい声であったり、または、口を閉ざしたまま通り過ぎてしまったりする子もいます。挨拶は、「魔法の言葉」と呼ばれます。人の心を温かくしてくれたり、元気を与えてくれたりする言葉です。また、挨拶の有無、声の表情で相手に与える印象も変わってきます。よい挨拶とは、よい印象を与える挨拶です。相手の目を見て、適切な声の大きさではっきり言葉にすることです。さらにできることなら、「笑顔」で挨拶できるということなしです。

「挨拶の返し方」もあります。挨拶をされた側は、受けた挨拶以上の挨拶を返すことで、相手の心を和やかにします。受けた挨拶以上の返答とは、例えば、声の大きさや態度や表情などに気持ちを込めたり、挨拶の言葉に話しかけをプラスしたりすることなどです。まさに、「挨拶の倍返し」です。上手な挨拶の返しができる、心の距離がぐっと近づきます。自分を支えてくれるよい仲間を増やすことにもつながります。それは、将来、大いに得をする人生となり、子どもたちの今と未来の幸せを叶えることに近づきます。

今年度、子どもたちの学校生活における指導の重点として、

1学期	目を見てありがとう
2・3学期	いつでも どこでも 誰にでも 笑顔で挨拶 ありがとう

を掲げています。ますますありがとうや挨拶があふれる、地域・家庭・学校になるように、皆様のご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

群馬県教育ビジョン(第4期群馬県教育振興基本計画)について

計画期間：2024年4月～2029年3月

群馬県教育ビジョン(第4期群馬県教育振興基本計画)は、群馬県の教育分野における最上位計画です。本校では、学校経営グランドデザインを掲げ、地域や保護者の皆様にご理解とご協力をいただきながら、まさに教育活動を実施している最中です。このグランドデザインは、群馬県教育ビジョンの趣旨を踏まえて作成しましたが、土台の「群馬県教育ビジョン」について皆様と共通理解を図りたいと思います。

群馬県教育ビジョンのキーワードは、「エージェンシー」

「エージェンシー」とは、「みんな誰もがもっている、より良くしようとする力」「自分で考え、自分で決めて、自分で動き出す力」のこと。不本意なことが起きても、エージェンシーを発揮し、みんなも幸せになる、そんな行動が取れる人の育成を目指します。

○子どもたちが「エージェンシー」を発揮していくために学校で子どもたちに大切にしていきたいこと

- ・試行錯誤や失敗を経験させる。そこから学ぶことが重要である。
- ・仲間と協力しながら問題を解決する場を大切にしていく。 等

○子どもたちがエージェンシーを発揮していくために、教師自身が心がけていくこと

- ・授業中、教師がしゃべりすぎない。子どもたちを信じて任せる場を意図的につくる。
- ・教師自身も失敗をおそれず、前向きに授業改善に努める。 等

私たち教職員も、子どもたちが「エージェンシー」を発揮できるように、失敗をおそれず、前向きに取り組んでいこうと思います。保護者や地域の皆様、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。